

町体協

室内向けの競技で汗

少年団・クラブが合同体験イベント

白老

白老町 体育協会
は3月29日、町内七つのスポーツ少年団・クラブ合同の体験イベントを町総合体育館で初めて開いた。小学生40人や保護者ら計約120人が参加し、室内向けの野球やサッカーなどに汗を流した。



ティーパーボールを体験する児童

一度に多くの団体が集まることで、参加者がそれぞれの競技に触れ、気軽に体験できるよう同協会が初開催した。バスケットボール、バレーボール、野球、ソフトテニス、剣道、サッカーの少年団やクラブのコーチ、経験者が指導役となって子供たちに競技の魅力を伝えた。シュート練習やストラックアウトなど基礎的な動きの確認などから始め、やがて試合形式の体験に移った。

剣道では、防具を着けた選手に向かって参加者が面を繰り出した。白武館の指導者、杉本誠力さん(49)は「興味を持って取り組む子が増えてくれたら」と語る。

町少年野球クラブの工藤剛監督(63)は「大谷翔平選手や、わがクラブ出身で巨人の若林楽人選手に憧れ

て野球を始める子が出てきてほしい」と期待。棒状の台の上に載せた柔らかい球を打つティーパーボールの体験などを実施した。白老町1年の藤田篤樹君(7)は、ボールを打つのは楽しい。野球大好きと笑顔を見せた。

ボランティアの指導役も、豪快にバットを振る姿に「将来が頼もしい」と目を細めていた。企画に関わった協会のスタッフは「初開催にもかかわらず多くの子供たちが参加してくれて、うれしい」

と胸をなで下ろす。体験にはなかったが柔道などの少年団もあることをイベントの中で伝え、「年2回ほどの開催でスポーツの魅力を伝えていきたい」と意気込んでいる。